３年振りの復活！？全国青年団結集会開催!!

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国青年団結集会は、２０２０年１月の高知県開催を最後に、中止していましたが、今年は２月に茨城県潮来市において、11日(土)～12日(日)の２日間にわたって、開催されました。３０都道府県１９３人の闘う仲間が結集し、東京清掃からも支部参加を含め、７名が参加してきました。

集会初日は、開会集会で主催者・代表委員・来賓より挨拶を受け、基調提案では様々な職場の実態や民間企業に勤めている仲間から職場の不満や不安など、たくさん聞くことができました。その中で、『公務民間に問わずコロナ禍でも仕事が最優先にされる現状に多くの働く仲間が、現在進行形で疲弊してきている。今春闘は、資本・労働組合ともに賃上げに言及していますが、それは決して物価が上昇しているからという単純な考えではないことを私たちは、共有しなければならない。今集会の最大の目的は、学習と交流を通じて賃上げの実現だけではなく、青年労働者の団結をさらに拡げていく事です。３年振りの全国青年団結集会を資本・会社の都合次第の春闘ではなく、労働者の生活や職場実態をもとに要求を確立し、真に青年のために大幅賃上げを勝ち取る決意を固め合う機会としましょう。』（岡崎代表員）

本部青年部
公式ＬＩＮＥ

本部青年部の
公式ＬＩＮＥ
登場!?
今後の活動や
最新情報をお
届けします。

とお話を聞き、私たちが今後考えていかなければならない課題が見え、それを共有し合ったことで気持ちの意志統一を図れました。

二日目は『ここから～関西生コン事件と私たち』という映画を鑑賞し、上映後に関西生コン支部組合員の松尾聖子さんより自身が体験したお話や同じ悲劇を繰り返さないよう、みんなには勇気を出して職場で闘って欲しいと想いを伝えてくれました。

関西生コン事件ってなんぞ？

近畿圏で生コンクリートを輸送する運転手らの労組員が、ストライキ、ビラまき、果ては正社員化や子供を保育園に入れるための就労証明書を求めたことまでが『強要未遂』『恐喝』『威力業務妨害』などにあたるなどとして、大量逮捕・起訴され続けた事件である。

なんでこんな事が起きたのか？

生コン業界は１９７０年代、過当競争の中で販売価格の低下や生コン品質劣化が起き、運転手らの働き手の報酬の引き下げによる生活難、建築物への悪影響などが、引き金になり、ストやビラまきなどの活動が始まった。

最後に、全国青年団結集会を通じて、共有した職場の矛盾はなぜ起きてしまうのか考えなければなりません。『残業は自らの能力不足』『会社の売り上げが悪いから賃金も仕方ない』など、資本主義によって作り出された働く者への意識支配から脱却するために、交流によって見えてくる多様な矛盾を整理する必要があります。そのためには、昔の労働運動のスタイルに縛られず、今を生きる仲間の心に寄り添い、問題の一つひとつに丁寧に向き合っていきましょう。**これを読んでいる人に、**少しでも組合活動の見方が変わればと思っています。３月に、第４３回青年部活動家労働講座（活労講）を予定しています。気付きや学びを得る機会ですので、興味のある方は、お試しでも大丈夫ですので、参加してみてください。

これからも団結して頑張りましょう！

参加された皆様
お疲れさまでした。

～参加者の熱い感想を紹介します～

私にとって、全国団結集会は普段会う機会の無い全国の仲間達と分散会を通じて情報交換をすることも重要な学びの一つですが、何より仲間との団結を深めるきっかけとして、大変意義のあるものだと感じております。3 年前に団結集会に初めて参加した際、１泊２日という私にとっては長い時間を職場から離れ仲間と共に過ごす事で普段職場では見せない自分の一面を見せたり、職場では見られない仲間の意外な一面見られたりとお互いの価値観や個性を知る事のできる貴重な場あると感じております。

今年も多くの全国の仲間と交流し沢山、貴重な意見を聞き、自分たちの職場に持ち帰り今後の活動に活かしたいと思います。　　**蒲田支部　小池さん（２回目）**

今回、初めて団結集会に参加させていただいて、私が印象に残ったのは『分散会』と『関西生コン事件』です。分散会では各都道府県から様々な業種の青年組合員が集まり、交流することで各職場の業務実態や賃金など驚く事ばかりでした。

この２日間の団結集会を経て、多種多様な青年組合員と交流することで『横のつながり』を大事にし、また要求していく課題に向き合い、そして今後何十年も働き続ける職場より良い環境改善の為に闘い続けていくため頑張ろうと思いました。

蒲田支部　村瀬さん（初参加）

私は団結集会に初めての参加となります。他団体、他単組との分散会が初めてで大変勉強になったと同時に自分の勉強不足を痛感し、更に学びたいと思うきっかけとなりました。

今回学んだことを知識とし月並みではありますが、支部の青年部会にて学んだことを自分なりに取捨選択し話す予定です。参加させていただき感謝するとともに、一緒に行動してくださった県実の方々にも感謝致します。ありがとうございました。

中央支部　大日向さん(初参加)

今回全国青年団結集会に参加して、１日目２日目ともに講演内容は学ぶこと、気づかされることが多くありました。大事なことは『仲間』であるという事で改めて教えてもらったと私は思いました。また参加したい気持ちもありますが、今後職場の仲間にも参加して何か持ち帰ってもらえるように、これからの仲間づくりに取り組んでいきたいと思います。

中央支部　赤岩さん(初参加)

引率していただいた文京支部の須永副部長お疲れ様でした。

Qヤングパワーってなんですか？

A．ヤングパワーは、２００３年～２００８年まで発行していた機関紙の名前です。詳しいことは、職場の先輩に聞いてみよう！

復刻版ヤングパワー始めました。

もしよろしければ

あなたの支部にお邪魔してもいいですか？

あなたの支部に本部青年部が、駆け付けます。

一緒に青年部を盛り上げていきましょう！！

Q．なんで復活したの？

基本「大漁海」は本部青年部の活動記録などを紹介しています。
各支部や各地連の活動を紹介するコーナーを作りたいなと思い、ミニコーナーとして「復刻版ヤングパワー」を再開しました‼

復刻版ヤングパワー

大田総支部・青年委員会 第４回定期大会開催!!

1月18日(水)に、大田総支部の定期大会に、本部青年部全員で参加してきました。

来賓から、大田総支部の西野委員長・本部青年部から山口部長より、これから新体制で活動するにあたり、応援のメッセージを頂き、大会が始まりました。

大田総支部では、「働きがいのある職場づくり」を目指すと共に「次の世代を担う人材」の獲得という目標を掲げ、職場・地域からの取り組みを行ってきました。

後輩職員をつくる為の行動の一つとして、基本組織の要請時期に合わせて、青年委員会独自の要請行動を行ってきたことで、今年も新規採用がありました。来年度には、青年部の仲間(現在13名在籍)が増え、新しい風が入ってくるでしょう。

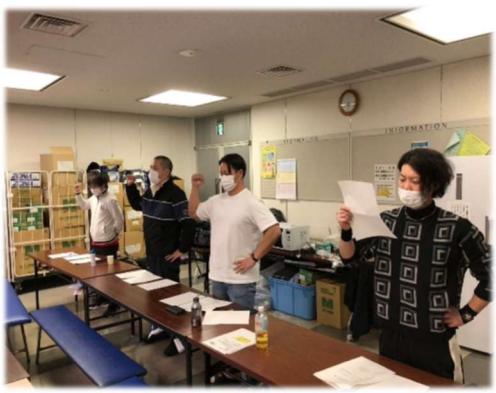
そして、今大会にて青年部長に就任した。深野さんから一言いただきました!

『これからは新体制のもと、そのエネルギーを最大限に活かし大田支部独特の明るさでよりアクティブに活動していきたいと思います。』フレッシュな新青年部長が誕生したということで、青年部は更に盛り上がっていくでしょう。私たち本部青年部も大田総支部の**パワフルさ**に負けないよう、頑張っていきます!

渋谷支部青年部 第５回定期大会開催!!

2月4日(土)に、第5回渋谷支部青年部定期大会が、開かれました。

来賓に、神崎渋谷支部委員長、本部青年部より山口部長が出席しました。応援のメッセージにおいて『青年部活動として大切なことは、支部内だけにとどまらず、横のつながりを強くしていくこと。そのためには、活動の流れを止めることなく、何かしら行動をしていくことが必要である。』とこれからの青年部としての『新しいかたち』と『各職場の問題や悩みを分かち合い、青年たちと共に歩んでいこう』という激励の言葉をお二人から頂きました。

そして、今回の定期大会において、新たに青年部長に務めることになりました。堀内さんにあいさつをいただきました。『私たち、渋谷支部青年部は現在3名が在籍しており、全員が同期です。コロナ禍においてできることの制限がありましたが、若い世代の声を上げるために活動を行なってきました。来年度からは、渋谷支部にも新たな若い仲間が入ってきます。未だできることに限りはありますが、新入組合員のお手本となるよう、またコロナ禍が明けた際には、お二人が言っていた様に、周りと協力し、活動の流れを止めることなく、今できることをしっかりと努めていきたいと思います』とこれからの青年部を活性化していこうという強い意志が感じられるあいさつをいただきました。

コロナ禍という厳しい状況で、大会を開けない支部が多く存在しているのが実態です。その様な中でも、頑張っていこうというヤングパワーを**ビンビン**に感じてきました。これからの青年部を盛り上げて欲しいですね!